

臨床研究のお知らせ

当院では下記の研究を行っております。

研究課題： 多系統萎縮症の病態解明と早期診断法の確立

この研究は通常診療で得られた頭部 MRI 画像を解析することによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究機関】 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

【研究責任者】 寺田達弘（脳神経内科）

【目的】 多系統萎縮症はパーキンソン症状や小脳失調などの運動障害だけでなく、自律神経障害や認知機能障害も出現する神経難病です。これらの神経症状は、患者さんの生活制限に大きく関与していますが、早期診断が困難なことも少なくなく、病気の原因も不明な点が多いのが実情です。多系統萎縮症など脳神経疾患では、脳の構造や機能の異常として、さまざまな神経症状を引き起こします。そのため、脳の形態を調べることは、多系統萎縮症の診断、治療の選択、病態の解明に非常に重要です。本研究は、頭部 MRI を用いて、多系統萎縮症の脳の形態・機能を評価・解析することで診断精度を高めるとともに、自律神経障害や認知機能障害の神経基盤を検討し、病気のメカニズムの解明を目的とします。上記解析にて、早期診断、治療方法の開発につながる可能性があります。

【対象】 当院に通院または入院した多系統萎縮症患者さんを対象とします。

【方法】 多系統萎縮症の診断、重症度評価、治療効果判定のために、通常診療の中で行われた頭部MRIの画像をコンピューター解析し、病態の評価を行います。そのため、本研究のためだけに追加施行しなくてはならない検査はありません。

【個人情報の保護について】 今回の研究による結果は、だれのものかわからないように匿名化し、プライバシーを保護した形で、学会・論文等に発表させていただきます。また、研究の参加を途中で取りやめたいと望まれる場合は下記問合せ先までご連絡ください。その場合には、あなたのMRI画像など臨床情報は通常診療のみに使用させていただきます。なお、いかなる場合にも不利益を受けることは一切ありません。

【問い合わせ先】 国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター 寺田達弘
静岡県静岡市葵区漆山886 電話番号:054-245-5446（病院代表）